

次単元への計画流れ図(高等部)

| G | P | B | H | 単元全体を通しての振り返り |
|--|---|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・自らスイッチに手を伸ばし、製品作りに取り組んでほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・釜の状態を確認しながら混ぜるスピードを調整したり、自ら相談したりしてほしい。 ・教師の言葉かけなく、仲間と相談して準備に取り組んでほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自ら2種類の糸を選び、作業に取り組んでほしい。 ・見通しや目標をもって作業に取り組んでほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・グループリーダーとして、友だちの出来具合を判断できるようにしてほしい。 ・製品の質や目標数を意識して取り組んでほしい。 | <p>＜単元構成について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もくせい祭から手づくりバザールに向けた、新製品の開発や現作業内容の見直しなど、長期的な内容であり、新しいことへの挑戦である。 <p>＜授業構成について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その日の活動内容を掲示し、個々で確認するとともに、グループリーダーが目標等を伝えることを意識して取り組んだが、うまくできない様子が見られた。 <p>＜場の配置について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業内容ごとに活動場所を固定し、特に製品化グループの生徒は落ち着いて活動に取り組むことができた。活動内容によっては教室も使用した。 |

| 次単元の年度当初の計画 | 個の集約(または学んだ教科等の傾向) |
|--|---|
| <p>【単元名】: アンケートからより良い製品を考えよう</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もくせい祭で購入していただいた方にアンケートを取り、より良い製品とはどのようなものかを考え、製品作りに取り組む。その中で新製品を考え、販売できるように準備する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・知・技は自分の担当する仕事を覚えて取り組むことができた生徒が多かった。次単元は、より良い製品を生徒同士で話し合い、考えながら状況に応じて活動する姿を期待したい。 ・思・判・表は時間を取ることが難しかったので、次単元も継続できるとよい。 |

【新たに取り入れたい各教科等の内容】

| 上記を関連付けて次単元を設定する際の考え方 | 次の単元の授業計画 |
|--|---|
| <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を生かす。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画はまだ難しいため、前単元の目標(学ぶ教科)を継続する。 <p>【主体的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を生かす。 | <p>【単元名案】「目標数を決めて、より良い製品を作ろう ～『手づくりバザール』に向けて～」</p> <p>【活動案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もくせい祭での売り上げや購入していただいた方々からアンケートを取り、どのような石けんが求められているのかを生徒同士で話し合い、目標数を決め、製品作りに取り組む。 |